

# NPGAパークゴルフルール事例集 変更表

2021.7.1からの変更ケ所

※簡単な語句の変更及び規則の適用の変更は除いています。

## 2、ティーグラウンド

NO	質 問 & 疑 問	付加打数	回 答 & 説 明	規則
4	グリップが雨で濡れているので、滑り止めのスプレーを吹き掛けた。	無	滑り止めのスプレーを使うことは問題ありません。	P28 5条
4	雨でグリップが濡れているので、滑り止めのスプレーを吹き掛けた。	無	滑り止めのスプレーを使うことは問題ありません。	P28 5条
8	トイレに行っている間にクラブを間違えられ、仕方なく同伴者に確認の上、代わりのクラブを使用した。 ①代わりのクラブは取り違いされた検査済みのクラブであった。(競技役員による再検査は受けないままスコアを提出した)	無	クラブを紛失した場合(取り違いも含む)、クラブが見つかったときは、同伴者の確認を得てこれを使用することができます。見つからない場合は他のクラブを使用することができますが、同伴者の確認及び競技役員による再検査が必要です。 ①代わりに使用したクラブが検査済みであった場合はストローク前に必ず同伴者に対する確認が必要ですが、競技役員による再検査は不要です。	P28 5条
	②代わりのクラブは自分で持っていた予備のクラブ(未検査)であった。(競技役員による再検査をスコア提出前に受けた)	無	②代わりに使用したクラブが未検査であった場合はストローク前に必ず同伴者に対する確認が必要であり、スコア提出前に競技役員による再検査が必要です。	
8	トイレに行っている間にクラブを間違えられ、仕方なく同伴者に確認の上、代わりのクラブを使用した。 ①代わりのクラブは取り違いされた検査済みのクラブであった。(競技役員による再検査は受けずにスコアを提出した)	無	クラブを紛失した場合(取り違いも含む)、クラブが見つかったときは、同伴者の確認を得てこれを使用することができます。見つからない場合は他のクラブを使用することができますが、同伴者の確認及び競技役員による再検査が必要です。 ①代わりに使用したクラブが検査済みであった場合はストローク前に必ず同伴者による確認が必要ですが、競技役員による再検査は不要です。	P28 5条
	②代わりのクラブは自分で持っていた予備のクラブ(未検査)であった。(スコア提出前に競技役員による再検査を受けた)	無	②代わりに使用したクラブが未検査であった場合はストローク前に必ず同伴者による確認が必要です。さらに、スコア提出前に競技役員による再検査も必要です。	
9	ティーグラウンドから、他の人のクラブで打ってしまった。2打目の前に気が付き、同伴者に確認の上、自分のクラブに変えてプレーしたがペナルティはあるのでしょうか？	2打	他の人のクラブでのストローク数に応じてペナルティを付加します。クラブを紛失した場合(取り違いも含む)、クラブが見つかったときは、同伴者の確認を得てこれを使用することができます。	P28 5条
9	ティーグラウンドから、他の人のクラブで打ってしまった。2打目の前に気が付いて同伴者に確認の上、自分のクラブに変えてプレーしたが、ペナルティはあるのでしょうか？	2打	他の人のクラブでストロークした場合には、ストローク数に応じてペナルティが付加されます。紛失(取り違いも含む)したクラブが見つかったときは、同伴者の確認を得てこれを使用することができます。	P28 5条
10	打順を間違えて打った。	無	打順を間違えてもペナルティはありません。そのままプレーを続けます。	P14
		打数X 2打	打ち直しをすると、アクシデントストロークのペナルティが付加されます。	P27 2条
10	打順を間違えて打った。	無	打順を間違えてもペナルティにはなりません。そのままプレーを続けます。	P14
		2打	打ち直しをすると、アクシデントストロークのペナルティが付加されます。	P27 2条

20	ティーウェイトを目標方向に向けて打つと、ペナルティになるというのは本当ですか？	2打	ティーウェイトを目標方向に向けてストロークするとペナルティが付加されます。	P31 9条
20	ティーウェイトを目標方向に向けて打つと、ペナルティになるというのは本当ですか？	2打	ティーウェイトを <b>目印として</b> 目標方向に向けてストロークするとペナルティが付加されます。	P31 9条
22	ティーショットを打ったが、傾斜を登り切れず戻ってきて、ティーグラウンドに接触して打てない。あるいは、チョロしたボールがティーグラウンドに接触した。アンプレヤブル宣言しなければならないのか？		ティーショット後、ボールがティーグラウンドに残っている(ティーグラウンドに掛かっているボールを含む)場合は、ストロークを行ったとはみなさず、再度ティーアップして、ティーショットすることができます。	P31 9条
22	ティーショットを打ったが、傾斜を登り切れず戻ってきて、ティーグラウンドの <b>台</b> に接触して打てない。あるいは、チョロしたボールがティーグラウンドの <b>台</b> に接触した。アンプレヤブル宣言しなければならないのか？		<b>ティーグラウンドの台に接触している場合は、そのまま打つか、アンプレヤブル宣言をすることができます。台に触れてもかまいません。*</b> ティーショット後、ボールがティーグラウンドに残っている(ティーグラウンドに掛かっているボールを含む)場合は、ストロークを行ったとはみなさず、再度ティーアップして、ティーショットすることができます。	P31 9条
27	ティーショットを空振りしたが、ボールは動かなかった。	無	空振りはストロークを行ったとみなしません。	P20 1条
27	ティーショットを空振りしたが、ボールは動かなかった。	無	空振りして <b>ボールが動かなかった場合は、ストロークとみなしません。</b>	P20 1条 P36 15条
28	ティーグラウンド上で空振り(素振り)したとき、風圧又は誤ってクラブがボールに当たり、ボールがティーから落ち、ティーグラウンド上で止まった。	無	ペナルティなしで、再ティーアップして打つことができます。	P31 9条
28	ティーグラウンド上で空振り(素振り)したとき、風圧又は誤ってクラブがボールに当たり、ボールがティーから落ちて <b>ティーグラウンド上で止まった。</b>	無	ペナルティなしで、 <b>ティーアップエリア内に</b> 再ティーアップして打つことができます。	P31 9条
29	ティーグラウンド上で空振り(素振り)したとき、風圧又は誤ってクラブがボールに当たり、ボールがティーから落ち、ティーグラウンドからも落ちて止まった。	無	1ストロークとして数えます。風圧で動いたとしてもストロークをしたものとみなします。	P31 9条
29	ティーグラウンド上で空振り(素振り)したとき、風圧又はクラブが <b>ボールにかすり</b> 、ボールがティーから落ちて <b>ティーグラウンド外に止まった。</b>	無	<b>ボールがティーグラウンドから離れて止まった場合には、</b> 1ストロークとして数えます。風圧で動いたとしてもストロークをしたものとみなします。	P31 9条
31	ティーグラウンドから足が出ていた、ティーアップエリア外から打った、ティーアップせずに打った等のボールが、ティーグラウンド上で止まった場合のペナルティは？	無	第1打のストロークが成立していないので、ペナルティはありません。ただし、ボールがティーグラウンドに掛かっていることが条件です。ストロークの前に、同伴者は注意すべきです。	P31 9条
31	ティーグラウンドから足が出ていた、ティーアップエリア外から打った、ティーアップせずに打った等のボールが、ティーグラウンド上で止まった場合のペナルティは？	無	<b>いずれも規則違反の行為であるが、1打目の</b> ストロークが成立していないので、ペナルティ <b>には</b> なりません。ただし、ボールがティーグラウンドに掛かっていることが条件です。*ストロークの前に、同伴者は注意すべきです。	P31 9条

37	アドレスしたときに、クラブヘッドがボールに触れ、ボールがティーから落ちた。	無	アドレス中にボールをティーから落とした場合、ボールがティーグラウンドに内に止まっているか否かに係わらず、ペナルティなしで、再ティーアップすることができます。	P31 9条
37	アドレスしたときに、スイングはしていないが、クラブヘッドがボールに触れ、ボールがティーから落ちた。	無	アドレス中にボールをティーから落とした場合、ボールがティーグラウンド内に止まっているか否かに係わらず、ペナルティなしで、再ティーアップすることができます。	P31 9条

42	ティーグラウンドで、他のプレーヤーのボールを打ってしまった。	無 ※貸してもらえなければ2打	ティーショット後に気が付いた場合は、ボールの持ち主の了解(ボールを貸してもらうこと)が得られたときは取り替えたボールとして扱い、そのままホールアウトまでプレーして、その後にボールを返却します。了解が得られなかったときは誤球として処理します。(そのホールのプレー中に交換した場合は、ペナルティが付加されます。)	P33 12条
42	ティーグラウンドで、他のプレーヤーのボールを打ってしまった。	無 ※貸してもらえなければ2打	ティーグラウンドで誤って他の人のボールをストロークした場合、ボールの持ち主の了解(ボールを貸してもらうこと)の了解が得られたときは取り替えたボールとして扱い、了解が得られなかったときは、ボールを回収して持ち主に返却し、誤球として処理します。(ホールのプレー中にボールをに交換した場合は、ペナルティが付加されます。)	P31 9条 P37 17条

#### 4、フェアウェイ

NO	質 問 & 疑 問	付加打数	回 答 & 説 明	規則
11	ショットしようとしたら、ボールが動き出したがそのまま打った。	2打	動いているボールを打ったので、1ストロークに数え、ペナルティが付加されます。	P36 15条
11	ショットしようとしたら、ボールが動き出したがそのまま打った。	2打	1ストロークに数え、動いているボールを打ったので、ペナルティが付加されます。	P36 15条

22	ボールに土が付いたので、うっかり(マークせずに)自分のボールを拾い上げて拭いた。	2打	プレーヤーの判断により同伴者に宣言した上で、ボールをマークして拾い上げること、また、拭くことができますが、リプレースしなければなりません。マークしなかったときは、プレーヤーにペナルティを付加し、そのボールは元あったと思われる位置にプレースすることになります。	P40 23条
22	ボールに土が付いたので、うっかり(マークせずに)自分のボールを拾い上げて拭いた。	2打	マークせずにボールを拾い上げたときは、ペナルティを付加し、そのボールは元あったと思われる位置にプレースすることになります。	P40 23条

33	ボールが枯葉の上に乗っかり打ちづらい、そのまま打たなければならないのか？	無	動かせる障害物である枯葉の上にボールが乗った場合は、同伴者の確認を得てボールを拾い上げ、枯葉を取り除いてから、ボールを元あったと思われる位置にプレースすることができます。	P43 27条
33	ボールが枯葉の上に乗っかり打ちづらい、そのまま打たなければならないのか？	無	動かせる障害物である枯葉の上にボールが乗った場合は、同伴者の確認を得てボールを拾い上げ、枯葉を取り除くことができます。ボールは元あったと思われる位置にプレースしなければなりません。	P43 27条

34	打球の確認しづらいコースで(ここは、ブッシュの外側にOB杭があるコースです)、1打目がブッシュの方向に飛んで行って、ボールが見つからない。同伴者から、OBと紛失球を合わせ、4打のペナルティと言われた。	2打	OBと紛失球が重なっても、どちらか一方でプレー中のボールではなくなるため、ペナルティを付加します。この場合は紛失が優先され、紛失したと思われる場所の近くにプレースしてプレーを続けます。 ※OBの外側にブッシュがあり紛失した場合は、OBのペナルティを付加し、入ったと思われる場所から、カップに近づかない、2クラブ以内にプレースしてプレーを続けます。	P43 32条
34	打球の確認しづらいコースで(ここは、ブッシュの外側にOB杭があるコースです)、1打目がブッシュの方向に飛んで行って、ボールが見つからない。同伴者から、OBと紛失球を合わせ、4打のペナルティと言われた。	2打	OBと紛失球が重なっても、どちらか一方でプレー中のボールではなくなるため、ペナルティを付加します。この場合は紛失が優先され、紛失したと思われる場所の近くにプレースしてプレーを続けます。 ※OBの外側にブッシュがあり紛失した場合は、OBのペナルティを付加し、入ったと思われる場所から、カップに近づかない、2クラブ以内にプレースしてプレーを続けます。	P50 32条

		1打	アンプレヤブルを宣言し、カップに近づかず、1クラブ以内の位置にボールをプレースします。	P52 33条
35	木の根元にボールが止まって打てない。	3打	アンプレヤブルを宣言しないでボールに触れた場合は、故意にボールに触れたこととなります。ペナルティを付加してアンプレヤブルを宣言し、カップに近づかず、1クラブ以内の位置にボールをプレースします。	P40 23条

		1打	アンプレヤブルを宣言し、カップに近づかず、1クラブ以内の位置にボールをプレースします。	P52 33条
35	木の根元にボールが止まって打てない。	3打	アンプレヤブルを宣言しないでボールに触れるとペナルティが付加されます。その場合にはボールを元あったと思われる位置に戻した上で、アンプレヤブルを宣言し、カップに近づかず、1クラブ以内の位置にボールをプレースします。	P39 21条

## 5、修理地&カジュアルウォーター

NO	質 問 & 疑 問	付加打数	回 答 & 説 明	規則
12	修理地の救済を受けてボールをプレースしたが、修理地内を通過する位置にプレースするとカップに真っ直ぐなので、修理地を通過する位置に救済を受けてストロークした。(修理地を通過した)	無	救済を受ける場合は、スタンス及びボールが当該修理地に掛からず、カップに近づかない位置で、かつボールが止まっている位置からできるだけ近い位置にプレースしなければなりません。この場合、次打でボールが修理地を通過することは問題ありません。	P48 30条
12	修理地の救済を受けてボールをプレースしたところ、修理地内を通過する位置にプレースすることとなったが、そのまま救済を受けてストロークした。(修理地を通過した)	無	救済を受ける場合は、スタンス及びボールが当該修理地に掛からず、カップに近づかない位置で、かつボールが止まっている位置からできるだけ近い位置にプレースしなければなりません。この場合、次打でボールが修理地を通過することは問題ありません。	P48 30条

## 6、ラフ

NO	質 問 & 疑 問	付加打数	回 答 & 説 明	規 則
2	触れるかどうかの確認中に枝、葉に触れた場合、アドレスしたときに触れた場合、バックスイングしたときに触れた場合、フォロースルーで触れた場合において、ペナルティに「なる」「ならない」の区分けがよく分かりません。教えてください。		アドレス時や触れるかどうかの確認中にクラブや体が枝、葉に触れた程度ではライの改善とみなされませんが、触れた結果としてライを改善してしまった場合は、ペナルティの対象になります。また、ストローク時(バックスイング時、フォロースルー時を含む)において、クラブや体が枝、葉に触れた場合には、ペナルティの対象になります。	P35 14条
2	触れるかどうかの確認中に枝、葉に触れた場合、アドレスしたときに触れた場合、バックスイングしたときに触れた場合、フォロースルーで触れた場合において、ペナルティに「なる」「ならない」の区分けがよく分かりません。教えてください。		アドレス時や触れるかどうかの確認中にクラブや体が枝、葉に触れた程度ではライの改善とみなされませんが、触れた結果としてライを改善してしまった場合は、ペナルティの対象になります。また、ストローク時(バックスイング時、フォロースルー時を含む)において、クラブや体が枝、葉に触れた場合には、ペナルティの対象になります。	P35 14条 P44 28条

17	ラフにあるボールにアドレスするときに、クラブをラフに置いたらボールが動いた。	2打	自分のボールを動かしたことになりペナルティーが付加されます。ボールは元あったと思われる位置に戻さなければなりません。動いたボールはプレー中のボールではないので、ボールが動いてクラブに触れても、さらにペナルティは付加されません。	P39 21条
		無	クラブヘッドが芝ではなく直接ボールに触れた場合には、ストロークとみなし、1ストロークに数えます。	P35 15条
17	ラフにあるボールにアドレスするときに、クラブを <b>ボールのすぐそば</b> に置いたらボールが動いた。	2打	自分のボールを動かしたことになるので、ペナルティーを付加し、 <b>ボールを</b> 元あったと思われる位置に戻さなければなりません。 <b>また</b> 、動いたボールはプレー中のボールではないので、 <b>動いた</b> ボールがクラブに触れても、さらにペナルティが <b>付加されることはありません</b> 。	P39 21条
		無	クラブヘッドが <b>ボールに触れた場合は</b> 、ストロークとみなし、1ストロークに数えます。	P35 15条

## 7、OB&ネット

NO	質 問 & 疑 問	付加打数	回 答 & 説 明	規 則
9	ネット付近での処置(1) ① ボールを打ったらクラブヘッドがネットに触れた。(初めからヘッドがネットに付いてはいない) ② ボールをネットに当てて反動を利用した。 ③ ネットをまたいで打った。	2打	①ストローク中にネットに触れたため、ペナルティが付加されます。	P35 14条
		無	②薦められた行為ではありませんが、ペナルティは付加されません。	
		無	③ネットに触れていなければペナルティはありません。	
9	ネット付近での処置(1) ① ボールを打ったらクラブヘッドがネットに触れた。(初めからヘッドがネットに付いてはいない) ② ボールをネットに当てて反動を利用した。 ③ ネットをまたいで打った。	2打	①ストローク中にネットに触れたため、ペナルティが付加されます。	P35 14条 P44 28条
		無	②薦められた行為ではありませんが、ペナルティは付加されません。	
		無	③ネットに触れていなければペナルティはありません。	
13	ボールがネットに付いて止まっているので裏からネットを挟んでボールを打った。	2打	ネットを挟んでボールを打つと、規則違反(不正打ち)によるペナルティが付加されます。	P36 15条
13	ボールがネットに付いて止まっているので裏からネットを挟んでボールを打った。	2打	ネットを挟んでボールを打つと、規則違反(不正打ち)によるペナルティが付加されます。	P36 15条 P44 28条

14	緩んだネットの上にボールが止まったときの処置。 ① そのまま打ったが、わずかにネットに触れた。 ② アンプレヤブル宣言し、プレー続行か？	2打	① ストローク時にクラブヘッドの一部でもネットに触れるとペナルティが付加されます。ネットの上に止まったボールをネットに触れずにストロークするのは、常識的に困難とされます。	P35 14条
		1打	② ストローク時にネットに触れそうな場合には、アンプレヤブルを宣言し、1打を付加による救済を受けるのが無難です。	P52 33条
14	緩んだネットの上にボールが止まったときの処置。 ① そのまま打ったが、わずかにネットに触れた。 ② アンプレヤブル宣言し、プレー続行か？	2打	① ストローク時にクラブヘッドの一部でもネットに触れるとペナルティが付加されます。ネットの上に止まったボールをネットに触れずにストロークするのは、常識的に困難とされます。	P35 14条 P44 28条
		1打	② ストローク時にネットに触れそうな場合には、アンプレヤブルを宣言し、1打を付加による救済を受けるのが無難です。	P52 33条

## 8、バンカー

NO	質問 & 疑問	付加打数	回答 & 説明	規則
8	バンカー内の枯葉の上にボールが乗っているとき、枯葉を取り除いたらボールが動いた。	無	バンカー内の枯葉、枯れ枝、小石、虫の死骸等は取り除くことのできる障害物です。ボールが動いたときは、ボールを元の位置に戻すことができます。	P43 27条
8	バンカー内の枯葉の上にボールが乗っているとき、枯葉を取り除いたらボールが動いた。	無	バンカー内の枯葉、枯れ枝、小石、虫の死骸等は取り除くことのできる障害物です。ボールが動いたときは、ボールを元の位置に戻さなければなりません。	P43 27条

## 9、ウォーターハザード

NO	質問 & 疑問	付加打数	回答 & 説明	規則
8	ボールがウォーターハザード内に入り打てない。	1打	ボールが最初にウォーターハザードに入ったと思われる地点から、カップに近づかない、1クラブ以内の位置にボールをプレースし、アンプレヤブルの1打を付加してプレーを続けます。(※川や池の場合は、地表と水面との境界が処置の基点になります)	P49 31条
8	ボールがウォーターハザード内に入り打てない。	1打	アンプレヤブルを宣言して1打を付加し、ボールがウォーターハザード区域に入ったと思われる位置から、1クラブ以内でカップに近づかない位置にボールをプレースし、プレーを続けます。(※川や池の場合で、境界が標示されていない場合は、地表と水面との境界が処置の基点になります)	P21 1条 P35 15条 P49 31条

## 10、グリーン(カップ周り)

NO	質問 & 疑問	付加打数	回答 & 説明	規則
1	マークを要求されたとき、及びカップから2クラブ以内のマークについて、どの時点で「プレー中」のボールであり、どの時点で「プレー中」のボールでないか教えてください。		ボールマーカを置いた時点で、「プレー中」のボールではなくなり、拾い上げたボールを元の位置に戻して「ボールマーカ」を外したときに、「プレー中」のボールになります。	P19 1条
1	同伴者の要求によるマークやカップから2クラブ以内のマークについて、どの時点で「プレー中」のボールではなくなり、どの時点で「プレー中」のボールになるのか教えてください。		ボールマーカを置いた時点で、「プレー中」のボールではなくなり、拾い上げたボールを元の位置に戻して「ボールマーカ」を外したときに、「プレー中」のボールになります。	P19 1条

12	ボールにマークをする場合、同伴者に同意を求める必要があるのですか？宣言だけでもよいのでしょうか？また、ボールをそのままにしておいてと言われたら、どうしたらよいのでしょうか？		ボールにマークをする場合は、宣言だけで同意は必要ありません。また、ボールをそのままにしておかれてもマークが優先されますが、マークの要求がないのに遠くにあるボールをマークしに行くのは避けるべきです。 ※カップから2クラブ以内のボールは宣言しなくてもペナルティは付加されませんが、マナーとしては同伴者に宣言することが望ましい。	P38 19条 P40 23条
12	宣言した上でボールにマークして拾い上げる場合、同伴者の同意は必要ですか。また、ボールをそのままにしておいてと言われたら、どのようにすべきですか。		規則第23条第1項に基づき、プレーヤーの判断でボールにマークして拾い上げる場合は、同伴者に宣言しなければなりません、同意を得る必要はありません。また、マークを宣言したときに、同伴者からそのままにしておくようにと要求されても、プレーヤーの判断によるマークが優先されますが、ボールをそのままにしておくことも選択肢の一つです。なお、マークの要求がないのに遠くにあるボールをマークしに行くのは避けるべきです。 ※カップから2クラブ以内のボールは、宣言しないでマークし、ボールを拾い上げることができるが、マナーとしては同伴者に宣言するのが望ましい。	P38 19条 P40 23条
24	接触して止まったボールのマークの仕方を教えてください。		カップから近い方のボールをマーク(目標物に対してボールの後ろにマーク)して拾い上げ、カップから遠い方のボールから先に打つようにしてください。(※ボールの位置には、ボールマーカをカップ又は目標物に対しボールの後ろに置いてマークしなければならない)	P40 23条
24	ボール同士が接触して止まった場合のマークの仕方を教えてください。		カップから近い方のボールにマーク(目標物に対してボールの後ろにマーク)して拾い上げ、カップから遠い方のボールから先に打つようにしてください。(※拾い上げるボールの位置には、ボールマーカをカップ又は目標物に対しボールの後ろに置いてマークしなければなりません)	P40 23条
27	競技会で予備カップの蓋がずれていて、プレーのライン上にあるため、同伴者の同意を得て、自分で修正してプレーをした。	2打	予備カップの蓋(動かせない障害物)は、明らかに元あったと思われる状態ではない場合、元あったと思われる状態に戻すことができます。「明らかに」とは、蓋がずれて口が開いていたり、蓋がないことによってボールがカップインしてしまうような状態をいいますが、この場合、元に戻すのは、同伴者が行うようにしてください。なお、蓋が斜めになっている状態の場合には、明らかに異常な状態とはいえず、プレーヤーが打つ前に自分で直すとペナルティが付加されます。プレーヤーがボールを打つ前に斜めになっている蓋を直したいときは、競技委員を呼ぶべきです。(※後続のためにホールアウト後に蓋を直すのは問題ありません)	P44 28条
27	競技会で予備カップの蓋がずれていて、プレーのライン上にあるため、同伴者の同意を得て、自分で修正してプレーをした。	2打	予備カップの蓋(動かせない障害物)がずれている状態の場合、「明らかに元あったと思われる状態ではない場合」には該当しないため、プレー中に蓋を直すとペナルティが付加されます。プレーヤーがボールを打つ前にずれている予備カップの蓋を直したいときは、競技委員の確認を得てください。また、組全員がホールアウトした後であれば、後続組のために蓋を直すのは問題ありません。なお、予備カップの蓋が、「明らかに元あったと思われる状態ではない場合」とは、蓋が外れていたり、蓋はカップに掛かっているが、口が開いているためにボールがカップインしてしまうような「明らかに異常な状態にある場合」を指します。このような状態にある蓋を元の状態に戻す場合は、必ず同伴者が行うようにしてください。	P44 28条